

教育委員会定例会会議録

開催日時	令和7年6月26日（木）午後2時00分
開催場所	リパリス1階会議室
出席委員等	委 員 鳴海 良廣 委 員 金永 俊一
	委 員 上西 幸子 委 員 横井 きよみ
	教育長 恵利 修二
欠席委員	なし
上記以外の出席者	教育課長 谷岡潔 専門監 本田敬 課長補佐 橋本敏博 国スポ推進係長 黒木陽 社会教育係長 佐々木恒太

・教育委員会定例会の開催

1 開会のことば

谷岡課長

・ただ今から令和7年6月木城町教育委員会定例会を開会します。

2 教育長あいさつ

恵利教育長

・皆さんこんにちは。蒸し暑い梅雨特有の気候が続いておりますけども、直射日光がないこのような中でも熱中症になる確率が非常に高いという気候の状況だそうです。水分補給など、日頃から十分気をつけていただきたいと、お互いにそうしたいものだと思います。木城学園では、水泳の授業も始まりまして、夏の到来を感じているところでございます。学校だよりの中にも紹介がしてありますけども、参観日と引き渡し訓練というのは、先日日曜参観の中で、大規模災害を想定した行事も行われていたり、梅ジュース作りは地域の婦人連絡協議会の方々のご協力で、毎年行われているようです。プール清掃は1年生です。裏を見ていただくと、木城町史跡めぐりというので、先日宮日新聞にも記事が出ていましたけども、6年生のふるさと学習の中で、今、ふるさと学習も見直しをしております、去年まで入ってなかったんじゃないかなと思っています。古墳見学は以前にあったようですけれども、こういう高城合戦を見ていくというような、そういう史跡めぐりも行われました。非常に地域の方々のお力を借りた学習が進められております。最後の方に西都児湯地区中学校総合体育大会の結果というのが載せてございます。どの競技も惜しい戦い、残念な戦いもありましたけども、ここに載せられているのは、頑張って県大会出場を決めた子供たちの結果であります。木城学園の子供たちの数によっては非常に多くの子供たちが県大会の出場を果たしたようでございます。非常に皆の健闘、全力でそういうものの発揮がなされたようです。今後は、残念ながら負けてしまった子供たちにも新たな目標に向かって、指導していただければということのお願いもしているところです。部活動と言え、私の種をまくってというのをご覧になると、私も中体連素晴らしい活躍、大健闘という記事を載せてございますがその下の、以下の方々を町の部活動指導員として委嘱させていただきました。ご紹介いたします。ということで4つの部で4名の方々にですね、

部活動の指導員、地域連携を始めましたので、そういう方々に委嘱状をお渡ししまして、部活動の充実も地域の方の力を借りながらですね、図っていかうとしてるところです。地域の学習といえば本日と明日の2日間、職場体験学習もを迎えているようでございます。それぞれの職場で子供たちが貴重なキャリア教育を重ねているところで大変お世話になって大きな学びを得ていることだと思います。今日報告をいくつかさせていただきますが、これから夏休みを迎えます。約1ヶ月後にはもう1学期終了ということで、ちょうど7月25日に1学期の終了式を迎えます。無事に、全員が夏休みを迎えますようお願いまして挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

3 議長選出

[恵利教育長に議長をお願いしました。]

4 6月期定例会会議録署名委員の指名(恵利教育長・金永委員)

5 議題及び議事

(1) 5月期定例会会議録の承認について(恵利教育長・鳴海委員)

[事前に送付していた5月期定例会の会議録について承認され、委員において署名]

(2) 事務局報告事項

①教育長報告

・[6月行事報告と合わせて報告]

②行事報告及び行事予定

6月行事報告)

恵利教育長

- ・6月1日(日) みやざき県民総合スポーツ祭「アーチェリー競技」
- ・6月2日(月) 6月議会一般質問打合せ
- ・6月3日(火) 第39回木城町福祉スポーツ大会
- ・6月4日(水) 木城っ子冒険プロジェクト実行委員会
- ・6月5日(木) 第1回木城町地域学校協働本部連絡会議
- ・6月6日(金) 第5回木城町議会定例会(～12日)
第2回地域再生マネージャー事業「協議・交流会」
- ・6月10日(火) 教頭研修会
- ・6月13日(金) みどりの会
みやざき国スポ木城町実行委員会総会町長打合せ
- ・6月17日(火) 木城温泉館湯らら「水神祭」
- ・6月19日(木) 木城町宿泊学習実行委員会
- ・6月20日(金) 学校体育研究会 来訪(会長:日南振徳高校 木宮校長、有水氏、佐久間氏)
- ・6月21日(土) 西都児湯地域婦人連絡協議会ミニバレーボール大会
- ・6月22日(日) 木城町民ミニバレーボール交流大会
- ・6月23日(月) 木城町地域学校協働本部全体活動「アサギマダラを木城に呼ぼう！」
ハンドアップマイスター任命式
- ・6月24日(火) 第1回事務改善委員会
定例課長会
- ・6月25日(水) 木城町「畜魂祭」
原水爆禁止国民平和大行進要請訪問

第81回国民スポーツ大会木城町実行委員会第2回総会

- ・6月26日(木) 木城町教育委員会6月定例会
児湯地方教育委員会連絡協議会総会・懇親会
 - ・6月27日(金) 2027 みやスポ神話会
 - ・6月28日(土) 第3回ココKon マルシェ in 木城町(～29日)
 - ・6月29日(日) 中之又鎮守神社「夏まつり」
 - ・6月30日(月) 第1回学校給食調理場運営協議会
- 以上で6月の報告を終わります。続きまして、7月、8月行事予定については課長から
よろしくお願いします。

7月行事予定)

谷岡課長

- ・7月1日(火) 第1回 部活動の地域連携・移行に係る会議
- ・7月6日(日) 木城町消防フェスタ
- ・7月7日(月) インフルエンサー委嘱状交付式
- ・7月8日(火) 県特別支援教育課長来庁
- ・7月9日(水) 宮崎市生目台地区木城学園視察来訪
- ・7月10日(木) 文化財調査推進会議
- ・7月11日(金) 宮崎日大理事長・副理事長挨拶来庁
- ・7月12日(土) ファンシューマーズNBB収穫祭
- ・7月14日(月) 高原地区地域学校協働本部木城学園視察研修来訪
- ・7月15日(火) 木城町駅伝競技強化委員会第1回実行委員会
- ・7月17日(水) 通学路合同点検
- ・7月23日(水) 教育講演会
- ・7月24日(木) 仮) 木城町教育委員会定例会
- ・7月25日(金) 木城学園1学期修了式
被爆80周年原水禁九州横断平和行進要請訪問
サマーワークショップ in 公民館
- ・7月28日(月) 義務教育学校海外派遣事業出発式(～31日まで)
毛呂山町児童の表敬来訪
毛呂山町児童とさわやかリーダーとの交流事業(～29日まで)
- ・7月29日(火) 大阪・関西万博「中之又神楽」出展(～31日まで)

【参考】

8月行事予定)

- ・8月9日(土) 第15回木城盆おどり大会
 - ・8月10日(日) 職員採用試験(2次)
 - ・8月15日(金) 木城町戦没者供養祭式典
 - ・8月19日(火) 第4回義務教育学校海外派遣事業実行委員会
 - ・8月26日(火) 第2回自治公民館長会
 - ・8月27日(水) 木城学園2学期始業式
- 7月、8月行事予定については以上です。

恵利教育長

- ・6月の報告、そして7月、8月行事予定行事予定の説明でした。ご質問・ご意見ございますか。

金永委員

- ・6月20日の学校体育研究会、どのような内容なんですかね。

本田専門監

- ・体育授業の発表会なんですけど、かなり昔から歴史は長いんですけども、小学校・中学校・高校の体育の先生が小中高の体育の先生が集まって授業研究会をやります。それぞれの継続性を見合って、今後の授業に生かしていくという取り組みであります。地区を回り回りでですね、開催が続いているものであります。次年度児湯地区で行われますので、ご挨拶に来られたところでした。

金永委員

- ・対象は小・中・高校ですね。

鳴海委員

- ・負担金を使っているのですか。

本田専門監

- ・在籍の子供の数で負担金を各地区で受け持つことになっております。

谷岡課長

- ・西都児湯地域で行われるときには西都児湯で負担をお願いしたいという事で、8年に1回ぐらい順番が回ってくるようです。

金永委員

- ・毛呂山から児童が来るのは今までもあったんですよね。

恵利教育長

- ・昨年からは始まりました。

金永委員

- ・来るのは2年目になるわけですね。それを受けて、こちらからも派遣しようということで、今年からそのための会議をするんですね。

恵利教育長

- ・よろしかったでしょうか。それでは夏休み大まかに、この横のペーパーを見ていただくと、夏休みに教育課が進める行事予定が全部載せてあります。それでは、教育講演会とイングリッシュキャンプについて説明をお願いします。

本田専門監

- ・教育講演会のチラシをつけております。前回もお示したんですけども、演題等が決まりましたので改めてご紹介させていただきます。7月23日水曜日、リバリスホールで開催いたします。前延岡市教育長の澤野幸司氏をお呼びします。対象はですね、木城学園の先生方、また希望される保護者の皆様、学校運営協議会の皆様、地域学校協働本部の皆様、町民の皆様、町外の方もたくさんの方に聞いていただいて、学校と地域の連携について気運を高めていきたいと考えております。お時間ございましたらぜひ足をお運びください。次にイングリッシュデイキャンプ緑色のチラシでございます。イングリッシュデイキャンプって何かなと思われるかもしれませんが、地区によっては毎年開催しているところもありますが、木城町としては初めて開催することになります。

す。主な内容は、ALTの先生方、木城学園にも1人いらっしゃいますけども、同じ会社でも、複数他地区にいらっしゃいます。当日は、5名のALTの先生に集まってもらって、子供たちといろんなゲームをしたり、会話をしたりとかといった活動を考えております。子供たちが生の英語に触れる貴重な機会になると思いますので、ぜひ成功させたいというふうに思っております。初めて企画いたしました。8月21日、対象は5年生から9年生を考えております。定員は40名程度を考えております。まだチラシは配っておりませんが、来週あたりからチラシを配って募集を開始したいなというふうに考えております。

金永委員

- ・英語に触れるからいいんじゃないすかね。無償でいいんですか。

本田専門監

- ・もちろん無償です。

恵利教育長

- ・それでは続きまして、台湾派遣、夏休みこども教室よろしくお願いします。

佐々木係長

- ・台湾派遣については先ほどお渡しした1枚紙が日程表になっています。28日から31日までの3泊4日の行程になっており、生徒20名、引率5名を台湾の方に派遣する形となります。3日目に木城学園の姉妹校である台北市立建成国民中学との交流会を予定しています。今回は行きにつきましては直行便を利用して、宮崎から直接台湾へ行くんですが、便の時間の関係で帰りが使えないってことで、1度福岡を経由して帰ってくる流れになります。交流以外にも観光したりというような内容になっております。続きまして夏休み子供教室について、毎年実施しているもので、昨年度は5教室でしたが、今年度は6教室で新たにペーパークラフト教室が加わりました。こちらは、宮崎県建築士会高鍋支部の方から要請がありまして、新たに今回加えたものとなっております。一応明日までの申し込みとなっており、ある程度の人数がそろっているんですけども、このペーパークラフト教室だけなかなか初めて実施する関係で、イメージが沸かなかつたのかまだ1名しか応募がないということで、5・6年生対象ということなんですけども、4年から9年生まで広げまして、申し込み期日も延長しまして、再度募集を考えているところです。

恵利教育長

- ・台湾派遣の派遣する20名の子どもたちは決定しております。本日第1回目の事前研修を行います。

金永委員

- ・台風が来た場合は延期とかあるわけですか。

佐々木係長

- ・基本の日程の変更はできないんですが、出発のときに台風が来たら中止となります。帰りの飛行機が飛ばなくなった時のための保険には加入しようと考えています。

金永委員

- ・夏休みこども教室も無償ですか。

佐々木係長

- ・一応無償なんですけど、物によって材料代がかかる可能性があるかもしれません。

横井委員

- ・夏休みこども教室の申込ですが、お仕事をされているお母さん方が申し込みに行けないという声もあるんですが。

佐々木係長

- ・ペーパークラフトについてはシグフィーを使って今回募集しようと思うんですけども、来年度は応募全部でシグフィーを使えば、その場で携帯で申し込みができるようになりますのでそのような方法を取りたいと思います。

谷岡課長

- ・一応応募多数の場合は抽選という形で早いもの勝ちじゃなくて抽選という形はとっていますけれども、言われたようになかなか申し込みに行けないという現実があるということで、今お聞きしましたので改善したいと思います。

恵利教育長

- ・続きまして、国スポについて黒木係長から説明をお願いします。

黒木係長

- ・昨日、木城町の実行委員会の第2回の総会がありましたので、そのときに使った資料冊子が一部と、カラーのチラシのついた資料が1枚と、今後の主なスケジュールという横長のA4紙1枚を資料として置かせていただいています。置かせていただいた資料によって総会の方を開かせていただきました。総会の資料については、令和6年度中の事業報告並びに専門委員会を昨年1回開いていますので、その専門委員会で決まりました基本計画を報告事項として載せさせていただいて、協議いただきました。審議事項としましては、令和6年度の事業と監査報告、そちらの方をさせていただきましたので、どちらも承認をしていただきました。令和7年度以降の事業についてと、予算についても承認いただきましたので、後程冊子の方はゆっくりご覧いただければと思います。あとA4の横長の紙で説明させていただきます。現在のところ、まだ木城町にはスポーツクライミングの施設はできておりませんので、今後の主なスケジュール、町内でのスケジュールを大まかに載せさせていただいています。今年度については、広報啓発活動を中心ということで、木城学園でのクラブ活動ですとか、イベントでの無料体験スポーツクライミングを予定しています。現在スポーツクライミングに関しては、施設がないので、自立式の高さ2.7メートル幅1.8メートルの移動式のクライミングの壁を木城学園に2基を、体育館の2階に設置をしています。木城学園の子供たちは、クラブ活動として日常からスポーツクライミングに親しんでいただいていますので、これを継続するというので今年は年間10回のクラブ活動が組まれているところです。学校の先生にもご協力いただいて啓発を行っているところです。あと、一般の方々、働き盛りの方々からお年寄りの方々まではなかなか触れる機会がありませんので、残り、今年度中にもう2基、県の補助金をいただいて、クライミングの仮設の壁をまた木城町の体育館の野外ステージの方に設置予定です。こちらの方については、きじょうふるさとまつりとか福祉まつり、県のカウントダウンイベントが今年ある予定ですので、木城町としてはその壁を持ち込んで県内の方にもPRできるようにということで考えているところです。エアロビックについては、昨年度ちょっとPR自体がなかなかできませんでしたので、今年度力を入れていきたいなと思ってます。町長からもそういう言葉をいただきましたので、先日、公民館のミニバレーボール大会の時に、準備運動として

エアロビックを6分間、参加者100名の方々、一緒にエアロビックを体験していただきました。日頃なかなか準備運動しないので、6分間で汗を大分かいたみたいで、けがもなくその大会を終えられたので、今後もそういった活動は続けていきたいなと思ってます。あと、同じく木城学園の子供たちへのPRとして、クラブ活動でのエアロビックの実践を入れております。県のクライミング連盟に加盟してます川南の黒木てる子会長が毎回クラブ活動に来ていただいて、エアロビックの広報啓発を含めて、実際に実践していただいています。今日も今の時間から、令和7年度の1回目が木城学園の方で行われております。この活動についてはですね、令和9年まで一応続けていこうとは思っています。人づくりの将来像として木城町としては、国スポを機会にリハーサル大会とか本大会でのスポーツクライミングでの木城町出身選手が出場できればとか、あと町民の競技人口が増えることを期待をしております。エアロビックについては、デモンストレーションとか、公開競技のオープニングでの木城町チームでの演技の披露ができればというところまで、将来像としては考えておりますので、継続して続けていきたいなと思います。令和8年度以降の主な事業として、令和8年度にはボランティアの募集であるとか養成事業、木城町は国スポ弁当というところでPRをしていきたいという町長の意向もありましたので、そこのすり合わせをしていきたいと思います。あと、競技の補助員として、高校生が必要となってくるのでそちらの養成事業も令和8年度以降積極的に行っていきます。主なPR活動としては以上です。一番下の枠が競技施設になります。木城町は仮設でスポーツクライミングの競技施設を作る予定ですので、今年度中に大会全体の会場レイアウト等の実施設計を予定しております。今月中に業者が決まりまして、来月からいよいよ全体像を計画していくことになります。令和8年度以降に実際の壁をつくる計画であったり、実際の設置工事を発注する予定になっております。今、世界の情勢が非常に難しい情勢で戦争がいたるところで起こったりとか、物価高、資材の高騰等がありまして、なかなか計画通りに進まないんじゃないかっていう町長の心配もありますので、予定しました工事の発注時期を、なるべく早めましては令和8年度中には、発注させていただいて、余裕を持った、競技施設の整備に努めて参りたいと思っております。それ以外にも業務の発注としましては、運送計画であったりジャッジシステムであったり、ルートセット、看板の作成業務委託であったり、あと音響の設備業務委託、交通警備委託と委託業務が非常に多く、契約しないといけないものがありますので、そういったものも木城町としましては事前に、なるべくスムーズに契約できるように令和8年度からは計画していけるように準備してきたいと思います。施設整備に関しまして将来像としましては、令和9年度については、大会終了後に国スポの使用ホール等一部の壁の一部を川原自然公園のボルダリング館に設置できればというところまで持って行って、将来的に子供たち、あと大人の方たちも、実際それを使っていただきながら国スポなり、世界へ羽ばたく人達を育成できればと思っております。一応そういった計画を主なスケジュールとして今回の総会では示させていただきました。以上になります。

恵利教育長

- ・色刷りの資料、イメージをしていただくことが一番かなと思います。滋賀県竜王町の視察の資料です。

黒木係長

- ・今年6月にリハーサル大会があったんですけども、そちらに橋本推進室長補佐と、推進員の永友国スポーツ推進員、2人入っていただきましたのでリハーサル大会に行ってもらいましたので、そちらの報告をさせていただきたいと思います。

橋本補佐

- ・かいつまんで説明いたします。1枚目が大会会場で配られていたチラシになります。書いてある通りネクストジェネレーションカップ2025in竜王と書いてあるんですけど、今回の大会がジュニア世代。次世代の選手育成という位置付けでリハーサル大会をやられています。裏面を見ていただくと、リードとボルダーということで2種目競技が行われています。ボルダーウォールとリードウォールのサイズが載ってますけど、ボルダーウォールが高さ5メートル幅が12メートルで、リードウォールが高さ15メートル幅12メートルというもの2つを使って競技をしていきます。ページ番号の1番から大会の会場内だったり雰囲気の写真になります。会場が屋根つきの運動場ということで、通称ドラゴンハットってこののですが、なかなか大きい施設でして、その中にリード競技とボルダー競技のウォールを作ってます。あと2ページ以降が会場の中の様子になります。アイソレーションルームというのがありまして、これがボルダー競技がですね、選手が会場入場時から、壁を見れないようになってまして、この部屋をまず作っていかなくちゃいけないということが前提としてあります。これがちょっとなかなか難しいかなっていうのもちょっと今回の視察では感じております。めくっていただきまして4ページ目がですね、同じく会場内なんですけど。下の2枚ですね。このリード競技施設の構造が見にくいんですけどこれが高さ15メートルの壁の構造になります。後ろから撮っていますけれども、こんなおっきいパイプがいっぱい据えつけてまして、結構なスケール感です。その下のボルダー競技の目隠し状況というのが、参加者も実は見れないように、こうやって幕がしてあります。競技前にこれがとられるという形になります。5ページが、会場内のスタッフのテントであったり、あとおもてなしのブースがありましたのでそちらを撮っています。一応今回は、無料の給水スポットと近江牛の振る舞いが限定で行われていました。6ページ目からがですね一番上が、スタッフあと我々視察に行ったメンバーもですね、そういった許可書を首から提げて会場内歩くことになります。このスタッフが許可書と帽子と同じ色で、動いてましたんで、誰が何の担当かっていうのはスタッフ同士で分かるようになっていました。隣が当日の弁当です。2種類ありまして、これがスタッフ選手に配られてました。ラッピングカーとか、駅の構内で看板とかいっぱい設置してあったんですけど、この下の高所作業車2台、これなぜあるかといいますと、15メートルの、リードウォールは予選と決勝で掴むところが変わります。付け替える際に、この高所作業車がないと作業ができないので、これが常駐することになります。7ページ目が、ホールドもやっぱり予選と決勝で、配置を変えますので、こういった作業が大会期間中にあります。あとは表彰の様子になってます。8ページ目が、にぎやかさがこういう感じでしてありましたというところ。簡単ですが、以上でございます。

鳴海委員

- ・竜王町の人口規模はどれぐらいですか。

黒木係長

- ・1万2千人ぐらいだと思います。

鳴海委員

- ・何度も言いますが、これを見ても高所作業車とか体育館の中に入れなければいけないとか。

黒木係長

- ・体育館の中には入れなくて大丈夫です。体育館の中は5メートルのボルダー競技ですので脚立とかで作業します。リード競技の15メートルは運動場に設置予定です。

鳴海委員

- ・体育館の空調の問題。今はエアコンが付いていないでしょう

谷岡課長

- ・今のところは、考えていません。スポットクーラー的なものは、さっきありました待合室アイソレーション室とか、送風機などを考えています。

鳴海委員

- ・10月もまだまだ暑いからどんなでしょうかね。

谷岡課長

- ・空調は調査をしましたが、もともとが空調をつけない造りになっているので、例えば、観客席の一部がつぶれてしまうとか、もういろんな弊害が出てくるようです。断熱材が入ってないのでそういったものから変えていかないといけないとかもう相当金額がかかるようです。

鳴海委員

- ・この竜王の会場は、木城の体育館の規模とどの程度違いますか。

橋本補佐

- ・3倍ぐらいでしょうか。

金永委員

- ・スポーツクライミングは子供たちがクラブでもやっているということですが何人ぐらい。

黒木係長

- ・クラブは18名ぐらいを学校側で順番にまわしてるみたいです。ほとんどの児童がやられてると思います。体幹とかに非常にいいと思います。なかなか運動不足の子も多いです。

鳴海委員

- ・中学校の体育館の2階にそんなスペースがありますか。

黒木係長

- ・あります。昔は卓球をやっていた場所です。

金永委員

- ・エアロビックもしているんですか。

黒木係長

- ・エアロビックは去年は2回しかできなかったんですけど。学校のカリキュラムとかでもダンスとかいろいろな器械体操があるみたいでそういったのを今踏まえて、学校の先生の負担にならないようにやらせていただいています。

金永委員

- ・クライミングは放課後とかも使えるんですか。

黒木係長

- ・使おうと思えば使えるんですけど、誰かが見てないとやっぱり安全面がちょっと不安になりますので、そこは、なかなか子供たちだけっていうのはちょっと厳しいと思います。

恵利教育長

- ・行事予定の2つだけ紹介します。8月にあるNHK全国学校音楽コンクールに初めて参加します。本田専門監から説明を。

本田専門監

- ・少し前に学校から報告がありまして、俗にNコンと言われる合唱の大会ですけども前期後期ともに参加をしてみたいということで、参加希望者を集めて今練習をしている最中だそうです。7日が後期課程、8日が前期課程になります。現在、バスの計画等も立てながら進めているところです。おそらくリパリスホールでも練習をして、本番に備えていくのかなというふうに考えております。県立芸術劇場で行われます。

恵利教育長

- ・8月15日の戦没者供養祭にも後期課程の有志の子どもたちが参加して、慰霊の歌をささげてくれます。

金永委員

- ・様々な行事で子供たちはとにかく大事な吸収の時期なので、人生に関わる大きな貴重な体験になると思います。

(3) 意見交換

金永委員

- ・郷土学習のところで、宗麟原供養塔には以前から行っていましたか。

恵利教育長

- ・初めてだと思います。

金永委員

- ・部活動の地域移行ですが、卓球部の指導者の名前は。

本田専門監

- ・大峠康之さんです。

横井委員

- ・この時期になると話題に上るのですが、小学校・中学校のプールの老朽化等が問題になって、いろんな小中学校で民間の委託をされているというのを耳にするんですが、木城町は何年前にきれいにされたんですか。

恵利教育長

- ・私が来てから1度塗り直しをしたような覚えがあります。前期課程のプールもかなり古いんですけど何かあればすぐ連絡がありますし、中はしっかりしています。後期課程は割と新しいです。管理はしっかりなされ、やはり委託するというのもやっぱり事故やいろんな部分で、命を預かる授業なので、スイミングスクールに委託する方法もあるんですが、木城には先生方も割とたくさんいらっしゃるの、指導が1人に対して監

視が必ず1人という体制で、しっかりやってくださいという教育委員会からもお願いしていますので、そういう部分では自校プールで出来るのかなと思っています。

横井委員

- ・中学校のほうで、今、思春期とかジェンダーなどで廃止する学校もあるようですが、今日のニュースで出ていました。

恵利教育長

- ・報告は受けてないですね。学校には確認をします。

横井委員

- ・西都市は2校でスイミングの委託をしているようです。

恵利教育長

- ・ご意見ありがとうございます。

(4) 次回定例会日程 (案)

恵利教育長

- ・次回定例会の日程について課長の方からよろしくお願いします。

谷岡課長

- ・次回の定例会につきましては、7月24日木曜日の午前9時からということでお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

恵利教育長

- ・宜しく願いしたいと思います。ここで議事を終わりたいと思います。

谷岡課長

- ・以上をもちまして、令和7年6月木城町教育委員会定例会を閉会させていただきます。一同礼ありがとうございました。

次回定例会日程

7月24日(木) 午前9時00分からリパリス会議室

この会議録は、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

木城町教育委員会

会議録署名委員

教育長

恵利 修二

委員

金永 俊一